

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600176		
法人名	(有)佑紀苑		
事業所名	グループホーム 佑紀苑		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字福富3125番地2		
自己評価作成日	平成24年2月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成24年3月23日	外部評価確定日	平成24年4月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム佑紀苑の理念として、「安らぎと安心のある生活を一緒にしましょう」という言葉をもとに、家庭的な雰囲気の中で、ご自身のペースでゆったりとした生活を過ごして頂けるようにしています。近所への買い物やドライブなどできる範囲で楽しんで頂き、人生の先輩として時にはアドバイスを受けてりしながら、スタッフと共に同じ時間を共有させて頂ける様日々努めています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

利用者の穏やかで安心感のある表情が印象的なグループホームである。職員は利用者の心に寄り添い、人生の先輩として敬意を抱いての支援である。「利用者の笑顔が自分の働く喜び」と感じながら共に生活している。また、現在の規模により理想的な支援が出来るとも感じている。 地域との結び付きを大事にしており、運営推進会議にも多方面からの参加があり、活発な意見が交わされている。また、管理者が地域への案内やお願いを直接足を運んで理解を深めたり、奉仕作業や行事に参加するなど、日々の生活の付き合いの継続を支援している。 利用者は自分の生活のリズムでゆっくりと一日を過ごしている。手作りのおやつを一緒に作ったり、毎月の誕生会の献立に自分の食べたい物を希望したり、手芸やカラオケなど自分の趣味に興じたり、買い物に出かけたり、共同作業をするなど、生活に喜びを感じ、楽しんでいる。
--

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	“安らぎと安心のある生活を一緒にしましょう”の理念を念頭に置き入居者様との日々の生活を大切にしている。	事業所開設以来の理念である。定例の会議において、理念を踏まえた支援であるかを話し合っている。また、日頃から事務室に掲示している理念を、意識しながら支援にあたっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一年を通して清掃活動等には、地域の一員として参加している。また行事の時には地域の方々へも参加して頂けるよう声かけや案内をしている。	地元の自治会に加入し、地域行事や奉仕作業にも参加している。地域住民の畑でイモ掘りを手伝ったり、ボランティアの方の出入りがあったり、近所から野菜をいただいたりとの交流がある。また、カラオケが好きな利用者に隣のカラオケ店からのお誘いがあることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事(文化祭等)への参加や、苑の行事等へ参加して頂き、地域の方々との交流を深めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、地域の方々の情報や意見等参考にし、サービスの向上に繋げている。	会議は、2ヶ月毎に開かれている。地域の各区长や民生委員も地域代表として交代で出席して、活発な意見交換が行われている。幼稚園児との交流、地域行事への参加、郵便物の取り扱い、ドライブレク時の安全確保などの意見が運営に反映されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2か月に1回は会議に参加して頂き、事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝えている。	行政からの運営推進会議への毎回の出席だけでなく、管理者も行政の担当課へ度々出かけて、情報や問題を共有している。職員と利用者が一堂に集まった町内のグループホーム交流会の実現にも、行政との綿密な連携のたまものである。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っておらず、入居者様のペースで生活して頂けるように配慮している。	全職員が身体拘束が心に与える苦痛を十分に理解しており、これまでに身体拘束の事例はない。玄関は自由に出入りができ、外門も開放しており、見守りで支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待行為は一切なく、入居者様に対しては尊厳を持って接している。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様の為にも、利用できる制度は活用出来るように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時・退去時には十分な説明を行い、理解や納得尾頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時や運営推進会議で本人様ご家族の意見をお聞きしている。外部の窓口がある事についての説明も行っている。	運営推進会議に必ず利用者・家族の参加があり、意見や要望を聴いている。また、利用料金納付や面会に家族が見えた時、笑顔で気軽に声をかけたり、自由にお茶を飲んでもらう等、何でも相談しやすい雰囲気づくりをしている。相談窓口の設置もきちんと説明がされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケア会議などで話し合い、今後の運営に反映するように努力している。	職員は社長や管理者とも話しやすさを感じており、会議の時だけでなく普段から自由に自分の意見や提案を出している。ボランティアの受け入れや毎日行っている体操の内容を検討するなど、多くの事例がある。個人的な相談も行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務時間はスタッフ個々の希望をとっている。向上心を持って働けるよう職場環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は、ケアカンファレンス時に事例をもとに対応等周知している。外部研修は、情報を全スタッフで共有し参加したスタッフは報告書を提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内のグループホームと3ヶ月に1回の会議(交流会)にて情報交換をし、質の向上に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ．安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にアセスメントを十分にとり、早く馴染んで頂けるようコミュニケーションを取りながら、安定した生活の支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分に苑内の雰囲気や周辺の環境等良く理解して頂き、家族様へも安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様とご家族様の思いを聴き、必要とされている支援の見極めを行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩より学ぶ姿勢を大切にし、考え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との連絡を密に取りながら、本人様が安心して生活が送られるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やお友達等いつでも面会に来て頂けるような環境作りに努めている。	近くの商店や直売所に出かけたり、散歩の時、知り合いの人と話や挨拶を交わしたり、面会に来ていただけるよう支援している。また、公園や神社などへ利用者の希望により出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立されないようにスタッフが中に入り、皆様と一緒に語り合える場づくりを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方へも、敬老会や苑のイベントには案内状を送付している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の要望を大切にプラン作りに努めている。また、サービスに反映できるよう努めている。	利用開始時の諸情報だけでなく、日々の関わりあいの中で意向の把握に努めている。利用者の心に寄り添う支援であり、日常の会話、何気ない言葉、表情や行動等からも把握が出来る。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にアセスメントを十分に取り、今後のケアに活かせるよう努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人と向き合いながら現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議時に話し合いをし、より良いケアができるよう全スタッフの意見を参考にし、プランを作成している。	利用者本位の具体的な計画を全職員で検討し、作成されている。本人、家族も共に参加し検討しての計画がたてられている。毎日の経過、諸情報も綿密で効率よくまとめられ、評価、見直しにも活かされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプラン作成時、日々の記録、経過を活かし見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の事が気がかりな方には、直接電話をかけて頂いたり、本人様の希望により面会の支援を行っている。病院の送迎サービスを利用したり、入居者様の現状に応じて新しく取り入れる場合もある。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々の協力にて、災害時の連絡網の支援をして頂いている。町の文化祭等にも参加している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者様が安心して受診できるようご希望通りの病院を利用して頂いている。	利用者、家族の希望する病院での受診となっている。今年から送迎のある協力医療機関も利用しており、往診もある。受診にあたっては職員が同行、支援している。かかりつけ医とは、情報の共有ができています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフは日常の健康管理を行い、心配事は看護師へ相談し、急変時には入居者様が適切な受診、看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の入院時には、ご家族様と病院関係者との情報交換を密に行い支援に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者様が重度化した場合の対応に係る指針をご本人様とご家族様と話し合い、説明し同意をいただいている。	ターミナルケアの指針があり、同意書も用意されている。看取り介護の事例はないが、入居時に本人や家族と納得のいく話し合いができており、身体状況の変化に沿って主治医や本人、家族とその都度、相談が行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療に関する研修にも参加し、応急、緊急時マニュアルに沿って速やかに対応できるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、昼夜の災害を想定した避難訓練をスタッフ、入居者様と共に行っている。地域の方々と近所の方にも協力体制を築いている。	地元消防団や近隣住民、区長、民生委員を交えての避難訓練が行われている。消防署の指導も受け、反省点もきちんと確かめられている。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様には常に尊厳を持ってプライバシーを損ねない言葉かけや対応を行っている。	利用者を年長者として敬意を払いながら接している。家庭的な雰囲気の中で、本人の尊厳を傷つけない接遇や支援である。個人情報の保護にもきちんと対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に声かけをしながら、ご自分の意見を言えるような話やすい環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全ての希望にそうことは難しいがなるべく希望にそった支援が出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧道具等をそろえて、お出かけ時、オシャレができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事時、スタッフは入居者様と一緒にテーブルにつき食事をしている。可能な限りは配膳や下膳調理の下ごしらえ等お手伝いして頂いている。	職員もそれとなく見守りながら一緒にの食事をしている。「皆で食べるとおいしい」との利用者の声も聞かれ、会話のあるなごやかな食事風景である。職員と一緒に配膳や後片付け等の他、匂いから今日の献立にある魚の名前を推測するなど食事への楽しみや関心を高める工夫がされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスの摂れた食事と量に気を付けている。水分摂取においても、一人一人の状態に合わせ配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、毎日入れ歯洗浄剤ケアを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自立された方が多いが、その方に合った排泄の声かけ誘導等を行っている。	一人ひとりの排泄習慣やパターンを把握し、自尊心に配慮した誘導が行われている。部屋でのポータブルトイレ使用から、共同トイレを使用するよう改善に向かった事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように、バランスの取れた食事の提供、水分量にも注意し、日々の生活の中で運動も取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人の希望や体調にも配慮しながら入浴を楽しんで頂く支援をしている。	二日に一度の入浴を基本にしているが、希望する方は毎日でも入浴することが出来る。一人ひとりの習慣や希望を尊重して、ゆっくりとした入浴が行われている。冬場は脱衣場の室温にも配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様のペースを大切に、休息して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情を頂き、理解した上で日付、名前の記入を徹底し、支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人その方に応じた役割を支援している。朝の掃除、洗濯干し、たたみ、買い物、ぬり絵、外出等気分転換の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の体調、天気、希望に応じて散歩に出かけている。週に3回以上、買い物やレクリエーションも取り入れ外出支援を行っている。他にも季節ごとに花見や外出等の支援に努めている。	その日の天気や利用者の様子から、ごく自然に声をかけての支援が行われている。散歩や買い物、また、近くの公園等に出かけている。特に買い物は利用者の楽しみの一つになっている。希望を取り入れた遠出のドライブ等は計画を立て、実施している。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の希望や能力に応じて苑で管理したり、使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には、本人様より電話して頂いたり支援している。手紙を書かれる方は、代筆の支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、清潔感のある観葉植物や花等を飾り、居心地良く過ごして頂くよう工夫している。	居間にはテーブルやソファ、テレビ、季節の花、自作の作品、自由に飲める湯茶等が置かれ、利用者はそこで思いおもいにゆっくりと過ごしている。室内は明るく、余計な雑音もない。西日の強い夏場は、ブラインド等で遮光している。玄関の上り口も一般家庭を思わせるような落ちつけるつくりになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファに座って談話して頂けるよう、居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご自宅で使用されていた椅子や家具類を配置し、ご家族との写真を飾ったりし、居心地良い空間作りの支援をしている。	品物の持ち込みに制限はなく、鏡、小さな机、時計、整理筆筒、家族の写真、化粧品、本、その他色々な物が見受けられ、各居室が安心してゆったりとくつろげるその方らしい部屋になっている。好きな塗り絵をたくさん壁に貼って楽しんでいる方もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人が自立できるよう必要以上に手を貸さないように支援している。障害物を取り除き、安全、安心できる生活の支援をしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない